

躍る！太子高校 その1

わくわくする学校をしかける

本年度は、「躍る！太子高校」を合い言葉に教育活動を展開します。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の心躍る様子を知っていただければと考えています。

「躍る」という言葉には、「わくわくする」という意味があります。「太子高校に来て良かった」「太子高校は楽しい」。そんな生徒達の言葉からは、心弾む青春の息吹が溢れています。そこで、今年度は「躍る」をキーワードに学校づくりを行おうと考えました。

そのための取り組みとして、現在は、以下の事柄を実践しています。

- ① 新着任の先生方に、アクティブ・ラーニングの授業を参観してもらっています。

「アクティブ・ラーニングの授業」と一言と言っても、その授業スタイルは教師によって様々です。新着任の先生方に、本校で行われている様々な授業を参観していただくことで、アクティブ・ラーニング型授業の進め方のヒントをつかんでもらえればという気持ちで、行っています。今は、新年度になって、生徒達もクラス内での新しい人間関係を築かなければならないし、授業担当者とも新たに会ってその進め方に慣れなければならないという、けっこうストレスフルな時期ではあるのです。教師も生徒も、新しい環境に適応しようと必死で模索している時期です。そのため、先生方に参観されることで、その授業集団がまとまる事にもつながるのではないかと、欲張りな期待もしているのです。

- ② 「まなボード」を授業で活用してもらっています。

「まなボード」とは、ホワイト黒板のミニ版の表側に透明なシートが貼ってあり、プリントを挟んだり、答えを記入したりが自由にできるよう工夫されたボードです。昨年度末に 90 枚購入し、現在、様々な授業で使われています。今回は、英語の授業の様子を紹介します。



班ごとに、和訳を相談しながら書いています。○で囲ったものが「まなボード」です。

それぞれの班のボードを一齐に見ながら、教師の解説を聴いています。

生徒の声

- ・他の班の答えを比べながら見るので、どんな訳になるのかがわかりやすかった。
- ・自分たちの班の答えがなぜ間違いなのか、他の班の答えを見て、原因がすぐわかった。

どの生徒に授業の感想を聞いても、「皆で答えを確認し合えるので、わかりやすい」と好評でした。

学校のカ・イ・ダ・シ

新入生の体育の授業を見学しました。集団行動の練習をしていました。大きなかけ声で全員が一体となった、見事なフォーメーションでした。手の上げ方、足の方向と、細かなところまで神経の行き届いた行進です。入学して一ヶ月なのにと、感心しました。体育科の先生方からは「また見に来てください。」と誘われています。先生方の言葉の裏には、新入生への強い信頼が感じられました。ここにも、「躍る！太子高校」がありました。